

予算特別委員会委員長報告

ただいま議題となりました令和3年度神戸市各会計予算及び関連議案、合計47議案について、委員会審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、本市においても大きな影響が生じており、医療従事者の皆様は日夜対応に当たられているとともに、事業者や市民の皆様には、営業時間の短縮や不要不急の外出自粛など感染防止対策にご協力をいただいております。

このような状況の中、感染拡大を抑え、市民の命と健康を守り、そして神戸経済を回復させることに全力で取り組んでいくことが必要であります。

また、本市は阪神・淡路大震災という大きな危機を乗り越えてきましたが、現在、人口減少や超高齢社会、東京一極集中への対応といった新たな課題に直面しており、スピード感をもって with コロナ時代、さらにポスト・コロナ時代に対応しつつ、堅実な成長戦略により、持続可能な大都市経営を行っていく必要があります。

こうした点から、令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組まれるとともに、神戸の豊かな資源を活かした生活スタイルの創造と、安定した経済成長、市民所得の向上をめざし、暮らしと都市の価値を高めることにより、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて確かな歩みを進めていくものとなっております。

委員会は、去る2月26日に議案の付託を受けて以来、3つの分科会を設け、3月1日から10日まで局別審査、さらに15日には市長・副市長等に対する総括質疑を行いました。

それでは、委員会審査において議論となりました主な事項について、簡単にご報告申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症に関して、ワクチンの接種、医療提供体制の確保、医療機関への支援、事業者への支援などについて議論が行われました。

また、市政全般に関するものとして、行財政改革方針2025、特別自治市、水素社会の実現、都心・三宮の再整備、駅周辺のリノベーションなどについての議論

がありました。

次に、施策別では、「子育て・教育」に関しては、子どもの居場所づくり，こども家庭センターの体制強化，産後ケア事業，中学校給食，GIGAスクール構想，教職員の多忙化解消などについて，

「福祉・環境」に関しては，高齢者・障がい者の就労促進，斎場・墓園の再整備，食品ロスの削減，プラスチックごみ削減などについて，

「経済・産業・観光」に関しては，神戸医療産業都市の推進，地場産業の活性化，里山・農村の活性化，中央卸売市場の活性化，神戸空港の需要回復などについて，

「安全・安心なまちづくり」に関しては，災害時の体制整備，市営住宅のマネジメント，空き地・空き家対策，地域コミュニティ交通などについて様々な議論がありました。

委員会では，このような審査の後，3月15日に松本のり子委員ほか7名から予算の編成替えを求める動議が，松本のり子委員ほか12名から第14号議案に対する修正案がそれぞれ提出され，17日には各会派からの意見表明及び意見決定をそれぞれ行いました。

その結果，コロナ禍における支援のあり方，三宮再整備の進め方，大型開発への偏重などを理由とする反対意見もありましたが，新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止，医療提供体制の安定的確保，市民生活・経済活動の維持・回復といった対策に最優先に取り組むとともに，人口減少・少子高齢化などの社会変化に対応するため，街の魅力と活力を高める成長戦略の実施，子育て・教育環境の充実，神戸経済の活性化策，すべての世代を対象にした幅広い社会保障政策などが，総合的にバランスよく計上されており，「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた新たな施策が積極的に盛り込まれた予算となっていると判断できることから，委員会は動議及び修正案を否決した上で，令和3年度神戸市各会計予算及び関連議案，合計47議案については，いずれも原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に，委員会の要望事項について申し上げます。

まず，新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

先にも申し上げましたが，新型コロナウイルス感染症により本市でも大きな影響が生じていることから，感染拡大を抑え，市民の命と健康を守り，そして神戸経済を回復させることに全力で取り組んでいくことが必要です。

よって、PCR検査の拡充など感染拡大対策を一層推進するとともに、ワクチン接種については、市民に寄り添った広報に努めるなどスムーズな接種を推進されたいのであります。

また、感染者に対する偏見・差別等を防止する取組を一層強化するとともに、コロナ禍で影響を受けている市内事業者に対して、さらなる支援策を検討されたいのであります。

次に、福祉施策の推進についてであります。

市民生活の維持・回復のため、コロナ禍により急増する生活困窮者への支援を行うとともに、こども・若者ケアラーなど新たな社会課題への対応が必要です。

よって、こども・若者ケアラーへの支援について地域社会全体で支援できる体制を目指すとともに、くらし支援窓口の体制強化により生活困窮者への支援の充実を図られたいのであります。

次に、子育て支援の充実についてであります。

市民の暮らしの質を向上させ、将来にわたるまちの活力を維持するためには、子供達の健やかな成長を守り、切れ目のない子育て支援策を充実させることが必要です。

よって、切れ目のない子育て支援として、産前・産後・子育てのコミュニティー情報共有の場を民間活用も含めて支援するとともに、児童虐待やDVを未然に防ぐ対策を講じられたいのであります。

次に、教育環境の充実についてであります。

次世代を担う子供たちが、未来を切り開くために必要な教育を安心して受けられるよう、より一層の教育環境の充実が必要です。

よって、GIGAスクール構想の推進について、児童生徒の健康や情報モラルに配慮するとともに、中学校給食の全員喫食に向けてスピード感をもって取り組まされたいのであります。

また、学級崩壊問題について真摯に向き合い日常的な検証と改善を継続的に行われたいのであります。

次に、新たな都市活力の創造についてであります。

都市の発展のためには、新たな産業の創出や成長戦略の実施により税収を増加

させ、さらなる成長につながる取組に再投資していく好循環を創出していくことが必要です。

よって、水素スマートシティ神戸構想を推進するため燃料電池自動車や水素ステーションの増設に取り組むとともに、六甲アイランドの活性化、王子公園やさんちかの再整備に積極的に取り組まれないのであります。

次に、市政改革についてであります。

デジタル化が急速に進展している時代の変革に合わせて、市役所・区役所の業務を進化させ、社会経済の変化に即応した持続可能な行政サービスを提供していくことが必要です。

よって、行財政改革方針 2025 について、市民サービス等を十分に検証した上で着実に推進するとともに、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による人材確保・育成、民間人材の登用、BPRの実施による生産性向上を積極的に進められたいのであります。

以上、委員会審査の経過及び結果並びに要望事項についてご報告申し上げます。

終わりに当たり、委員会運営に終始ご協力をいただきました副委員長、理事の皆様、並びに連日熱心な審査を賜りました委員の皆様にご心から敬意と感謝の意を表しまして、報告を終わります。